

子どもの生活考グループ研究会

グループ員：吉岡 由香子 (こやのさと幼稚園) 南原 愛恵 (南幼稚園)
辻口 浩子 (桜台幼稚園) 合田 新治 (天神川幼稚園)
山川 陽子 (すずはら幼稚園) 金光 容子 (いけじり幼稚園)
倉田 裕子 (このいけ幼稚園)

担当指導主事：宮崎 大樹

キーワード：幼児 幼児理解 幼児教育

1 研究テーマ

「子どもの生活を通しての学びを考える」

2 研究内容

「子どもの生活を考える」という研究テーマに基づいて研修を行った。日々の保育に活かしていくことができるように、“子どもは環境の中で育つ”という視点を基に、その時期ならではの実践や保育環境の写真などを参加全教員が持ち寄り、学び合った。協議を進める中で、“子どもの興味関心から教員が遊びをどのように広げるか”、“子どもの心が動いた瞬間の遊びの広げ方”など、保育の中での悩みを出し合ったり、教員の援助や子どもの学びの読み取りについて考えたりして研修を深めた。また、その時期の行事(園外保育や劇あそび)の取り組みや、今年度市内指定の研究会を終えた教員の学びについて情報交換し合い、子どもの生活の中で大切にしていきたい視点を学び合った。

(1) 事例研修

- ① 個のかかわりについて
- ② 夏祭りごっこを通した5歳児の保育(異年齢のかかわりについて)
- ③ 個別の支援について

(2) 保育環境について

- ① 子どもの姿から各学期の保育環境の振り返り
- ② 就学に向けた保育室の環境について

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 事例研修では、子どもの発達段階や季節から、その時期の生活や遊びを通して個々の心の安定を図ることの大切さを再認識した。そして、様々な教員のアプローチの仕方から、子どもが遊びを深めるための環境構成や教員の援助を探ることができた。
- ② 保育環境の写真を持ち寄り学び合う場を持つことで、“教員がこの時期に何をねらい、どのように遊びを進めようとしているのか”、“子ども同士がどのようにかかわっているのか”など、教員のねらいや、その環境をとおしての子どもの学びについて、より具体的に協議し学び合うことができた。
- ③ 事例研修や環境構成写真を用いて協議を進めることで、より具体的に個々の教員の悩みを捉えることができた。子どもの感じ方や教員の受け止め方、保育の展開の仕方など、様々な視点から新たな道筋を導き出すことができ、保育を見直し即実践につなげていくことができた。

(2) 課題

- ① 事例研修、環境構成写真を用いた協議をおこなった後の保育についての検証を深めていく。
- ② 子どもの学びを幼稚園教育要領に照らし合わせ、幼稚園での24か月の育ち、学びを保証する保育の展開を考えていく。